



## 多職種連携による多様な選択肢を提供する医療に、 頼りになるのはBMLの電子カルテシステム Qualis Cloud（クオリスクラウド）です。



一般小児科・発達サポート外来

●医療法人社団のびた

みくりキッズくりにつく様（東京都世田谷区）

「医療法人社団のびた みくりキッズくりにつく」は、東急大井町線<sup>上野毛駅</sup>南口より徒歩7分ほどの住宅地に2016年4月より開院しています。建物は地下1階地上3階建てで、待ち時間に利用できる中庭やプレイルームも備えており、随所に遊び心の詰まった楽しい空間が演出されています。

同クリニックでは14職種70名以上の各分野の専門家が在籍し診療をサポートしているのが特徴です。いろいろな視点で診ることにより、薬や注射といった一般的なクリニックの医療だけでなく、生活をしていくうえでの選択肢を提供し困りごとを解決することができます。「経過観察をしない」をモットーに「様子を見ましょう」という言葉は使わず、専門家が具体的で分かりやすいアドバイスをすることで、ご自宅でも安心して生活できるようサポートしています。また同クリニックでは、東京都で初めてクリニック併設型として認定された医療型特定短期入所施設「まんまる」を運営しており、子どもたちとご家族が当たり前の生活を安心して送るための支援も行っています。

「みくりキッズくりにつく」の診療を支えているのが、2022年9月に導入したBMLの電子カルテシステム「Qualis Cloud（クオリスクラウド）」です。『多職種が関わる中でも汎用性が高いところが魅力です。部門ごとの診療スタイルに合わせて、入力補助ツールやカルテレイアウトがカスタマイズできます。また、入力も簡単で使いやすいため、土日のみ診療する非常勤医師にも初回から惑うことなく入力できると好評です。算定に関してもポップアップでアラートが出るため、レセプトも間違いが少なくなり楽になりました。BMLとは長いつきあいですが、分院を開院した際には担当営業の方がいろいろな面で適切にアドバイスをしてくれました。電子カルテ導入時にはインストラクターが訪問しレクチャーしてくれますが、どのクリニックの時にも専門性が高いインストラクターなのでとても信頼できました。』（本田院長）。

『小児科医の魅力は子どもの未来を見られること。これからは予防医学や子育て支援にも力を入れていきたい』と語る本田真美院長と同クリニックにとって「Qualis Cloud（クオリスクラウド）」の力強いサポートは欠かせない存在です。

『文藝春秋』2023年9月号